

平成 27 年度草の根無償「巡回医療改善計画」供与式

2016 年 5 月 31 日

在ポルトアレグレ領事事務所

1. 5 月 24 日、ブラジル最南端のリオ・グランデ・ドスール州の州都ポルトアレグレ市で、同州の日系社会が待ち焦がれた巡回医療車の引き渡し式が行われました。

式典の会場となったのは州都警察指令軍本部、日系人の池田マリオ司令官率いる部隊が駐屯し、州都の防衛が司られる拠点です。

この日は好天に恵まれ、池田司令官は、過日着任したばかりの近藤在ポルトアレグレ領事事務所長と共に日伯両国国旗の掲揚を行いました。南日伯援護協会や日系社会関係者など 50 名余りが集いました。



(写真：供与される巡回医療車。供与式当日は寒いけれど好天に恵まれました。)

2. 式典では、まず初めに樋渡ミルトン南日伯援護協会会長、実際に巡回医療に携わる森口エミリオ同副会長（医師）から挨拶が述べられました。

(1) 樋渡南日伯援護協会会長と森口同副会長はその挨拶で、「昨年、梅田大使が当地に来訪された折、私共が有する老朽化した巡回医療車を買替えた旨お願いしたところ、今般、日本政府による草の根・人間の安全保障無償資金協力プロジェクトとして迅速に実施して頂き、本日、供与式という形でこれが現実のものとなりました。」と述べました。



(写真：州都警察指令軍本部での供与式の様子)

(2) 更に、「今後は、サンタカタリーナ州からリオ・グランデ・ドスール州全土に渡る日系人社会へ安全且つ快適に巡回医療を実施できるようになりました。日本政府・日本国民に心から感謝の意を表したく、梅田大使に宜しくお伝え願います。」と感謝の意の表明がなされました。

3. これに対し近藤所長は、「日本政府の草の根無償資金協力は、その活動と組織が信頼に足る団体に資金協力を行っています。南日伯援護協会は我が国協力の信頼に足る組織活動を行っており、今般、本件巡回医療車を供与できるようになった事は大変喜ばしい。同協会には本件巡回医療車を最大限に活用して地域医療サービスの充実に貢献して頂くと共に、本件を通じて日本国民とリオ・グランデ・ド・スール州の人達との友好の絆が益々深まる事を願っています。」と述べました。

4. 最後に、参加者による巡回医療車前での記念撮影が行われ、車内装備の視察も行われました。



(写真：出席者と巡回医療車。後段中央右寄り近藤領事の右隣に池田マリオ軍司令官)



(写真：医療車内装備の状況。手前の問診用机後方に診療台、広い空間で診療できます。)

なお、この巡回診療の経費の一部はクラウドファンディングによって賄われているようです。ご関心の向きは「<http://japangiving.jp/c/12186>」をご参照ください。(以上)